

## 先端科学開拓研究分野

先端科学開拓研究分野は 11 の研究会からなり、その研究内容は原子核励起研究から巨大分子系の機能研究まで多岐に及んでいる。利用している実験装置・手法・放射光のエネルギーは広く分布しており、全体をまとめたの研究動向や発展状況は述べるのが困難であるが、いくつか共通していることなどを以下にまとめる。

多くの研究会では活発に研究活動が行われており、インパクトファクターの高い雑誌への論文発表が行われている。新聞発表や受賞などの報告もあり、研究会の活動は概ね順調であると判断できる。特に多くの研究会では、これまでの研究成果に基づき、新たな実験手法の開発や、それぞれの得意な実験手法を新しい物質系へ適用しようとする意欲的な取り組みが見られ、高く評価できる。また複数の研究会で、この研究会活動を通じて競争的資金獲得のための申請を行っていることが報告されており、本活動が実質的に役に立っていることが分かる。一方、このように各研究会での活動は活発に行われているが、研究会間の連携に関しては、それほど意識されていないようである。もう少し研究会間にコミュニケーションがあっても良いかと思われる。また、研究会内外での情報交換に役立つと思われるホームページなどの整備は、一部の研究会を除いて、まだ十分に進んでいるとは言えない。今後これらを改善し、有意義な研究ネットワークが研究会間に広がることを期待したい。